

次世代Greasemonkey、Tsukikage Systemの開発

開発者：中山心太

Greasemonkeyを使っていて思った
自然言語処理を使って、文脈を判断したウェブの書き換えがしたい

無いなら自分で作ってしまえ

Greasemonkeyの問題点の改善

- 自然言語処理
- ネイティブコードを利用した高速処理
- マルチスレッド
- データベース処理
- Etc....

特徴

- Proxyサーバとして動作
- すべてPythonで記述
- ブラウザ、OSを問わない
 - WiiやPSPでも動作
- Greasemonkeyスクリプトの上位互換
- グループウェアとして利用可能

たとえばこんなサービスが

- 文章に自動的に振り仮名を振る
- 企業名が出たら自動的にチャートを表示
- ウェブの文章を自動要約して表示
- ウェブとローカルハードウェアの連携
- 色盲の方が見たときをシミュレートする
自動色調変換ブラウザ

動作原理

- ① HTMLをダウンロード
- ② HTMLにJavaScriptを付与
- ③ ブラウザに表示される
- ④ JavaScriptがTsukikageと通信
Pythonのスク립トを実行
- ⑤-1 ネットワーク先の情報を取得
株価、天気、検索エンジン...
- ⑤-2 DLLを呼び出して自然言語処理
ハードウェアアクセス
- ⑥ JavaScriptがHTMLを書き換え

製作したサンプルソフトウェア

- 特徴語ハイライト
- 付箋共有ソフトウェア(グループウェア)
- 自然言語処理を利用した
フィッシングサイト検出ソフト(開発中)
- マウスカーソル共有ソフト
- ニコニコ動画 PSP連動ソフト

